

再 評 価 調 書 (案)

I 事業概要							
事業名	海岸事業（侵食対策事業）						
地区名	たはら とよはしかいがん 田原・豊橋海岸						
事業箇所	おおくさちょう にしかさわちょう 田原市大草町～豊橋市西赤沢町						
事業のあらまし	<p>たはら とよはしかいがん 田原・豊橋海岸を始めとする、渥美半島の太平洋に面したいらごみさきから静岡県境までの約47kmは、表浜海岸と称され、海食崖と砂浜の織りなす優れた景観を有するとともに、サーフィンをはじめとした海岸利用の場、また、わが国でも有数なアカウミガメの繁殖地となっている。</p> <p>しかしながら、表浜海岸全体で侵食によって砂浜の消失が進んだため、防災上必要な砂浜幅を確保するための侵食対策を行う必要があった。</p> <p>2006年8月に学識者を交えた「渥美半島表浜海岸保全対策検討会（以下、「検討会」という。）」を設置し、検討会で決定した基本方針に基づき、防災上必要な砂浜幅を確保するため、自然の流れをできるだけ活用し、最小限の潜堤と養浜を組み合わせた効率的な砂浜の回復を目的とした整備を実施していくものである。また、モニタリング調査をあわせて実施し、潜堤整備による砂浜回復の効果や影響を把握しながら事業を進めていくものである。</p>						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 侵食による国土消失の防止 <p>【副次目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アカウミガメ繁殖場としての海岸環境の保全 ・ サーフィンをはじめとした海岸利用の場としての砂浜消失の防止 						
計画変更の推移		事前評価時 (2007年度)	再評価時 (1回目) (2012年度)	再評価時 (2回目) (2017年度)	再評価時 (3回目) (2022年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2008～2017	2008～2017	2008～2027	2008～2027	変更なし	
	事業費（億円）	22.6	22.6	22.6	22.6	変更なし	
	経費内訳	工事費	21.0	21.0	21.0	21.0	変更なし
		用補費	0.0	0.0	0.0	0.0	変更なし
		その他	1.6	1.6	1.6	1.6	変更なし
事業内容	潜堤、養浜 (L=11,200m全体計画)	潜堤、養浜 (L=11,200m全体計画)	潜堤、養浜 (L=11,200m全体計画)	潜堤、養浜 (L=11,200m全体計画)	変更なし		
II 評価							
① 事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田原・豊橋海岸では、特に大草地区、城下・久美原地区、赤沢地区で砂浜消失が危惧されており、これらの地区では早急に侵食対策を実施する必要がある。 <p>【再評価時（1回目）の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最新(2011年度実施)の深淺測量結果をみても、依然として砂浜の回復傾向はみられず、侵食対策を実施する必要がある。 <p>【再評価時（2回目）の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最新(2016年度実施)の深淺測量結果をみると、一部砂浜が回復しているものの、依然として砂浜の回復傾向はみられず、侵食対策を実施する必要がある。 <p>【再評価時（3回目）の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最新(2021年度実施)の深淺測量の結果をみると、再評価時（2回目）に比べ砂浜の回復傾向は見られるものの海岸全体での回復はみられないため、モニタリングを継続し、検討会の意見を聴きながら残りの事業を進めていく。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 潜堤2基を整備したことにより、砂浜の一部回復傾向は見られるものの海岸全体での回復はみられないため、モニタリングを継続し、検討会の意見を聴きながら残りの事業を進めていく。 					

判定	B	A：事業着手時に比べ必要性が増大している。 B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。																																																																																																																																																																																															
	【理由】	・ 砂浜回復の傾向は一部に限られ、今後も侵食対策が必要であるため。																																																																																																																																																																																															
1) 進捗状況	【事業計画及び実績】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>2008</th> <th>2009</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> <th>2013</th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>潜堤</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>灯標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="2">2.5</td> <td colspan="2">2.5</td> <td colspan="2">17.6</td> <td colspan="11"></td> <td>22.6</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="2">2.5</td> <td colspan="2">2.5</td> <td colspan="2">2.6</td> <td colspan="11"></td> <td>7.6</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="2">2.5</td> <td colspan="2">2.5</td> <td colspan="2">2.6</td> <td colspan="11">15.0</td> <td>22.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費の「前回計画」について、再評価(1回目)の場合は「当初計画」とする。</p>	区分	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	計	工種区分	調査・設計	←	→																				用地補償																						工事	←																				→	潜堤	←																				→	灯標				←→																	→	事業費(億円)	前回計画	2.5		2.5		17.6													22.6	実績	2.5		2.5		2.6													7.6	今回計画	2.5		2.5		2.6		15.0											22.6
	区分	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	計																																																																																																																																																																											
工種区分	調査・設計	←	→																																																																																																																																																																																														
	用地補償																																																																																																																																																																																																
	工事	←																				→																																																																																																																																																																											
	潜堤	←																				→																																																																																																																																																																											
	灯標				←→																	→																																																																																																																																																																											
事業費(億円)	前回計画	2.5		2.5		17.6													22.6																																																																																																																																																																														
	実績	2.5		2.5		2.6													7.6																																																																																																																																																																														
	今回計画	2.5		2.5		2.6		15.0											22.6																																																																																																																																																																														
【進捗率】	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.6</td> <td>0.2</td> <td>33</td> <td>0.6</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>22.6</td> <td>7.6</td> <td>34</td> <td>22.6</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費内訳</td> <td>工事費</td> <td>21.0</td> <td>6.0</td> <td>29</td> <td>21.0</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.6</td> <td>1.6</td> <td>100</td> <td>1.6</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.6	0.2	33	0.6	33	事業費(億円)	22.6	7.6	34	22.6	34	経費内訳	工事費	21.0	6.0	29	21.0	29	用補費	—	—	—	—	—	その他	1.6	1.6	100	1.6	100																																																																																																																																																						
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																																																													
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																																																																												
延長(km)	0.6	0.2	33	0.6	33																																																																																																																																																																																												
事業費(億円)	22.6	7.6	34	22.6	34																																																																																																																																																																																												
経費内訳	工事費	21.0	6.0	29	21.0	29																																																																																																																																																																																											
	用補費	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																											
	その他	1.6	1.6	100	1.6	100																																																																																																																																																																																											
【施工済みの内容】	測量、潜堤2基																																																																																																																																																																																																
2) 未着手又は長期化の理由	・ これまで事業計画通りの事業費が確保できていないことにより事業が長期化している。																																																																																																																																																																																																
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「渥美半島表浜海岸保全対策検討会」の検討成果に基づいて事業を実施していく見込みであり、整備が完了した城下・久美原地区の潜堤2基による効果や影響について、砂浜の動向をモニタリングし、検討会の意見を聴きながら残りの事業(大草地区の潜堤2基、西赤沢地区の養浜)を進めていく予定である。 																																																																																																																																																																																																
判定	B	A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・ これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後は多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。																																																																																																																																																																																															
	【理由】	・ 事業の阻害要因は特になく、一定の期間等を要すれば計画通りの完成が見込まれるため。																																																																																																																																																																																															

② 事業の進捗状況及び見込み

③ 事業の効果の変化

1) 貨幣価値化可能な効果
(費用対効果分析結果)の変化

【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】
 ・ 特になし

【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】
 ・ 全体事業に対する費用便益比は 2.8(>1)であり、事業効果が期待できる。
 なお、海岸環境保全・海岸利用の便益においては、CVM を用いて算出しているため、便益額に幅があることが想定されるが、侵食防護便益のみで評価した場合においても費用便益比は 1.5(>1)となる。

区分		事前評価時 (基準年:2007年度)	再評価時(1回目) (基準年:2012年度)	再評価時(2回目) (基準年:2017年度)	再評価時(3回目) (基準年:2022年度)	備考	
費用 (億円)	事業費	18.0	-	18.7	-	変更なし	
	維持管理費	2.0	-	1.6	-	変更なし	
	合計(C)	20.0	-	20.3	-	変更なし	
効果 (億円)	侵食防止便益	22.2	-	29.7	-	変更なし	
	海岸環境保全・海岸利用	37.8	-	27.9	-	変更なし	
	合計(B)	60.0	-	57.6	-	変更なし	
	(参考) 算定 要因	路線価(円/㎡)	13,500.0	11,023.0	10,073.0	9,100.0	-9.7%
		世帯数	156,414.0	164,132.0	168,962.0	184,865.0	9.4%
費用対効果分析結果(B/C)		3.0	-	2.8	-	変更なし	

※金額は、社会的割引率（4%）を用いて現在の価値に換算したもの。

費用対効果分析については、愛知県公共事業評価実施要領細則により、原則として、事前評価時（前回評価時）と比べ、その要因が3割を超えて変化している場合、または費用対効果分析が1未満になる恐れがある場合に実施するとされており、今回の評価では算定していない。

【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】
 ・ 「海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)」、2004年6月、農林水産省農村振興局、農林水産省水産庁、国土交通省河川局、国土交通省港湾局（2020年4月一部更新）
 ・ 海岸事業は、背後地の資産等の防護、海岸の利用の促進、環境の維持・保全・改善による海岸利用・海岸環境保全を目的とした事業である。施設の整備により解消できる被害額等を便益として算定し、その整備に必要な費用と比較して費用対効果分析を行っている。
【変動要因の分析】
 ・ 大きな変動要因はない。

2) 貨幣価値化困難な効果
の変化

【事前評価時の状況】
 ・ 特になし

【再評価時（1回目）の状況】
 ・ 特になし

【再評価時（2回目）の状況】
 ・ 特になし

【再評価時（3回目）の状況】
 ・ 特になし

【変動要因の分析】
 ・ 特になし

判定

A

A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。
 B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。
 C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。

【理由】・状況に変化がないため、事業着手時と同様な事業効果が発現される。

III 対応方針（案）	
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容	
■対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 —	
V 事業評価監視委員会の意見	
VI 対応方針	